

## 令和3年度の事業実施状況

広島祈念館 1頁～11頁

## 令和3年度 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業実施状況

### 1. 入館者状況

開館（平成14年8月）以来、令和4年3月末までの入館者数は、4,724,289人となっており、同期間の平和記念資料館入館者（24,885,592人）の19.0%である。【過去3年間の月ごとの入館者数を10ページに記載】

（参考）年度別入館者数

区分	入館者数	1日平均入館者数	対前年比	外国人 <sup>(注)</sup> （内数）	
				入館者数	対前年比
令和元年度	379,163人	1,142人	87.4%	145,233人	91.2%
令和2年度	69,413人	280人	18.3%	4,195人	2.9%
令和3年度	62,058人	297人	89.4%	3,672人	87.5%
累計	4,724,289人	—	—	—	—

（注）外国人入館者数とは、総合案内において外国語版のリーフレット又はチラシを配布した人数を集計している（平成24年度から集計開始）。

（令和3年度は新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のため、令和3年5月10日から6月20日まで、令和3年8月7日から9月30日まで、令和4年1月9日から3月6日までの3回（42日、55日、57日の計154日）を臨時休館とした。）

### 2. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開

広島県内各市町での葬祭料給付申請時や、平和記念式典への参列案内時に遺影登録の案内をするほか、8月6日に原爆死没者名簿への登載確認等との共同窓口を設置している。

また、被爆者証言ビデオの収録や被爆体験記執筆補助事業などの機会をとらえ、登録申請を呼びかけた。さらに、著名人の遺影登録に際し、マスコミに情報提供するなど遺影登録の周知を図った。

（参考）年度別登録状況

区分	原爆死没者数（登録数）	対前年比
令和元年度	769人	113.6%
令和2年度	650人	84.5%
令和3年度	753人	115.8%
累計	25,192人	—

### 3. 被爆体験記等の収集・整理・公開

被爆者の高齢化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規収集が困難な状況となったが、広報紙への掲載やマスコミへの情報提供のほか、被爆者証言ビデオ収録などの機会をとらえて被爆体験記の提供を呼びかけるとともに、体験記執筆補助事業（平成18年度開始）により収集に努めた。また、新聞等に掲載された被爆体験記の記事を確認し、発行者等へ照会して、寄贈又は購入の依頼を行った。

収集した被爆体験記については、より一層の活用を図るため、データベース化、イメージデータ化及びテキストデータ化を推進し来館者の利便性の向上を行った。

#### (参考) 年度別被爆体験記収集状況

区分	体験記収集数（編）					図書収集（冊）		公開数 <sup>(注1)</sup> （編）
	H7 厚生省	H17 厚労省	H27 厚労省	独自収集	計	購入	寄贈	
令和元年度	0	0	▲5	74	69	142	83	139
令和2年度	0	0	▲11	57	46	126	85	219
令和3年度	▲1	0	▲2	51	48	154	72	686
累計	81,204	11,778	11,333	3,487	107,802	2,281	3,258	148,328

(注1) 被爆体験記として収集後、内容を整理・精査し登録対象外とする場合があり、また収集年度と公開年度が異なる場合があるため、各年度の収集数と公開数は一致しない。

#### (参考) 被爆体験記のデータベース化等の進捗状況

区分	編数	割合
館内公開体験記数	148,328	—
データベース化 <sup>(注2)</sup>	143,197	96.5%
イメージデータ化 <sup>(注3)</sup>	107,738	—
テキストデータ化 <sup>(注4)</sup>	2,988	—

(注2) データベース化とは、来館者が閲覧を希望する被爆体験記を容易に検索できるよう、被爆体験記に書かれている情報に基づき、被爆者の氏名、年齢、所属及び被爆場所、登場する人物、場所及び時期などを、職員が分類・整理し、システムに登録する作業をいう。

(注3) イメージデータ化とは、館内公開している被爆体験記を、展示端末画面で容易に閲覧できるよう、被爆体験記をスキャンしてシステムに登録することをいう（平成24年度から実施）。

(注4) テキストデータ化とは、被爆者が書いた被爆体験記を読みやすく、また、将来、多種多様なキーワードにより検索が可能となるよう、被爆体験記を文字入力する作業をいう（平成24年度から本格的に実施：令和3年度2,988編、令和2年度2,547編、令和元年度2,288編）。

#### 4. 企画展の開催

情報展示コーナー（地下1階）において、毎年定めるテーマに沿って企画展を開催する。関連資料を展示し、被爆体験記をディスプレイで閲覧できるようにするとともに、被爆者の証言映像及び被爆者自身が描いた「原爆の絵」等を交えた映像作品を制作し上映する。

また、映像資料はインターネットに掲載するとともに、平和学習資料としてDVDや資料の貸出を行っている。

(1) 「震えるまなざし － 撮影者たちが残したことば －」

期間：令和4年3月1日(火)～令和4年12月29日(木)

概要：軍所属のカメラマン、写真店の店主、新聞社に勤務する中学生等、全く異なる職業や立場の撮影者たちが、目をそらしたくなる気持ちを押し殺しながら、ファインダーに映る被爆後の悲惨な状況をいかにしてフィルムに収めたのか。そしてその体験を、彼らの鋭い描写力でどのようにことばに表したかを明らかにする。

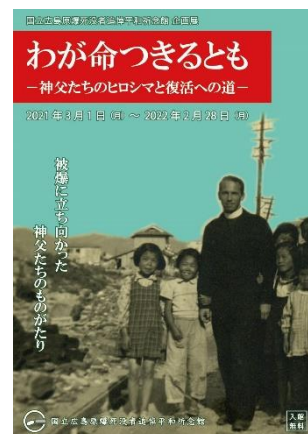
〔 実際にキノコ雲を写したカメラ等を展示する  
と 共に撮影者たちの体験記を公開 〕



(2) 「わが命つきるとも － 神父たちのヒロシマと復活への道 －」

期間：令和3年3月1日(月)～令和4年2月28日(月)

概要：被爆当日、イエズス会の幟町教会（爆心地から約1.2キロ）にいた4人の外国人神父たちの被爆後の状況を克明に描いた体験記等を通して、ヒロシマの復活への道をたどる。



## 5. 被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲がありながら高齢等により体験記の執筆が困難な広島県内の被爆者を対象に、職員による聞き取りと代筆を行った。(平成 18 年度開始)

(参考) 年度別実施状況

区分	応募数	実施者数	辞退数 (体調不良等)
令和元年度	13 人	11 人	3 人
令和2年度	9 人	6 人	4 人
令和3年度	10 人	9 人	1 人
累計	195 人	169 人	28 人



被爆当時の地図などを見ながら被爆体験を聞き取りします

※ 令和元年度及び令和2年度の実施者には前年度応募者1名ずつ含む。

## 6. 被爆者証言ビデオ制作

被爆者団体等から推薦された広島県外在住の被爆者を対象に、長崎祈念館と協力(長崎被爆者については長崎祈念館が収録・編集を担当)し、その体験談をビデオに収録(令和3年10月～令和4年1月)し、編集作業を行った。制作した証言ビデオについては、令和4年5月から館内の体験記閲覧室で公開する。



カメラを前に被爆体験を語っていただきます

(参考) 年度別制作状況

区分	実施人数	収録都道府県
令和元年度	18 人	福島1人、埼玉2人、東京3人、神奈川8人、愛知4人
令和2年度	5 人	京都1人、大阪1人、兵庫3人
令和3年度	21 人	山口1人、鳥取3人、愛媛4人、岡山5人、大阪1人、千葉3人、東京4人
累計	405 人	45 都道府県で収録(広島県及び長崎県を除く。)

また国外在住の被爆者証言ビデオの制作については、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国外における収録対象者の確保・調整が困難であったことから、制作できなかった。

(参考) 年度別制作状況

区分	実施人数	国・地域
令和元年度	5人	アメリカ (5人)
令和2年度	-	実施していない
令和3年度	-	実施していない
累計	67人 (68本)	韓国 (34人)、台湾 (4人)、アメリカ (18人)、アルゼンチン (1人)、オーストラリア (1人)、カナダ (2人) (うち1人は日本語、英語で2本収録)、ブラジル (5人)、メキシコ (2人)

## 7. 多言語化対応事業

海外から来館するさまざまな国や地域の人に、母国語で被爆の実相を伝えるため、令和3年度は被爆者証言ビデオの証言内容を英語、中国語、アラビア語、イタリア語、クロアチア語、スペイン語、タイ語、ドイツ語、ハンガリー語、ヒンディー語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語、ロシア語の14言語に翻訳した。また、被爆体験記をフィンランド語に翻訳した。(証言ビデオの字幕及び体験記の翻訳言語数は24言語)

(多言語化の詳細を11ページに記載)

## 8. 被爆体験記の朗読事業

収集した被爆体験記を活用し、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを語り継ぐことを目的に平成17年度から実施している。修学旅行生や市内の学校などを対象とした朗読会、毎月第3日曜日に開催する定期朗読会、8月5日、6日の朗読会、市内近郊への出前朗読会も開催した。また、全国で朗読会を開催したいとの要望に応えるため、朗読セットを国内15団体へ貸し出した。



広島市内での朗読会

(参考) 年度別開催状況

(単位：回)

区分	定期	集中開催 5/3-5, 8/5-6	広島市内	原爆展	英語朗読 (英語定期含む)	計
令和元年度	22	13	94	国内2海外2	41	174
令和2年度	14	4	32	開催なし	※ 0	50
令和3年度	12	13	34	開催なし	2	61

※ 新型コロナウイルスの影響により、来日する外国人が減少したことから英語での定期朗読会は当面開催を中止している。

## 9. 被爆体験伝承者等の派遣

被爆の実相、平和への想いを日本全国の次世代に語り継ぐために、「被爆体験伝承者」と「被爆体験記朗読ボランティア」を、平成30年度から国内の学校等へ無料で派遣し、被爆体験伝承講話及び被爆体験記朗読会を実施している。令和2年度から「被爆体験証言者」の派遣も開始した。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を行った上で全国に203件(証言講話9件、伝承講話186件、朗読会8件)派遣した。この派遣による講話及び朗読会において延べ約2万3千人の児童・生徒等が聴講した。

(参考) 地域別派遣件数

(単位：件)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
件数	5	1	42	20	107	19	6	3	203

(参考) 申込団体別派遣件数及び聴講者数

(単位：件・人)

区分	小学校	中学校	高等学校	大学	自治体	その他	計
件数	120	49	26	1	3	4	203
聴講者数	9,370	8,428	4,972	43	320	85	23,218

## 10. 被爆体験伝承者等に対する語学等の研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により被爆体験伝承者等の海外派遣を実施できなかったため、研修は実施しなかった。

## 11. 修学講習の実施

被爆体験の次の世代への継承と平和意識の高揚を図るため、修学旅行などで広島を訪れた児童・生徒等を対象に、被爆者による被爆体験講話等を内容とする講習を追悼平和祈念館研修室で行った。

(参考) 令和3年度実施状況

(単位：件・人)

区 分	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	57	21	9	11	98
聴講者数	1,531	570	243	122	2,466
1団体あたりの平均聴講者数	26.86	27.14	27.00	11.09	25.16

## 12. 広島平和学習セミナーの開催

令和元年度まで、平和学習を目的とする多くの修学旅行生に来館してもらうため、広島市と共同で学校関係者及び旅行会社（教育旅行部門）を対象に、広島での平和学習や体験学習などを紹介する広島平和学習セミナーを開催していた。令和3年度は広島市主催の平和学習講習会に参加する形で、祈念館で実施している平和学習の紹介を行った。

(参考) 年度別開催状況

区分	開催都市		参加者
令和元年度	東京都	令和元年8月21日	25人
	名古屋市	令和元年8月22日	13人
令和2年度	開催していない		
令和3年度	オンライン ※広島市主催の平和学習講習会として	令和4年8月16日	114人



### 13. インターネットによる情報提供

当館の事業内容を、ホームページで広く情報提供するとともに、外部提供について同意の得られた被爆体験記及び被爆者証言ビデオを、順次、ホームページ（平和情報ネットワーク <http://www.global-peace.go.jp/>）に掲載し情報発信した。

(参考) ホームページ公開状況

グローバルネットワーク（平和情報ネットワーク）掲載本数及び編数

区分	被爆体験記					証言ビデオ				
	H30年度まで	H31年度	R2年度	R3年度	総掲載編数	H30年度まで	H31年度	R2年度	R3年度	総掲載本数
1 日本語	841	26	49	141	1,057	611	27	39	11	688
2 英語	133	20		18	171	156	6	1	2	165
3 中国語	102	13		5	120	156	2		2	160
4 韓国・朝鮮語	102	12		5	119	168	2	1		171
5 アラビア語	9				9	6	1	1	3	11
6 イタリア語	9				9	10		1		11
7 インドネシア語	9				9	5				5
8 ウルドゥ語	9				9	5				5
9 オランダ語	9				9	6				6
10 ギリシャ語	6		3		9					0
11 クロアチア語					0	2	1	1		4
12 スウェーデン語	9				9	3				3
13 スペイン語	9				9	12		2	1	15
14 スロベニア語					0	6				6
15 タイ語	9				9	3				3
16 ドイツ語	9				9	34	4	3	2	43
17 ノルウェー語	5		4		9					0
18 ハンガリー語	2				2	5	1	2	1	9
19 ヒンディー語	9				9	4		1	2	7
20 フィリピン語	9				9	3				3
21 フィンランド語	6			3	9					0
22 フランス語	9				9	32	3	1		36
23 ベトナム語	9				9					0
24 ポーランド語	9				9	2		1		3
25 ポルトガル語	9				9	9		1	1	11
26 マレー語	9				9	3				3
27 モンテネグロ語	2				2					0
28 ロシア語	9				9	10	1		2	13
合計	1,352	71	56	172	1,651	1,251	48	55	27	1,381

(参考) 平和情報ネットワーク総アクセス件数

区分	総アクセス件数
令和元年度	5,526,862
令和2年度	3,978,834
令和3年度	5,360,976

※ 平和情報ネットワークは、広島・長崎両館が合同で運営している。

#### 14. 情報展示システムの保守・管理および情報展示コーナーの実施設計

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行った。

また、令和5年度の情報展示システム機器更改に向けて調査研究を行うとともに、情報展示コーナーの実施設計を行った。

#### 15. 来館者増加対策等

感想ノート等により、来館者の声に耳を傾け、来館者サービスの向上を図るとともにあらゆる機会を捉え、広報紙、ホームページや新聞等のマスコミを通じてPRに努めた。

#### 16. 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組み

臨時休館：3回、合計154日間

令和3年5月10日から6月20日まで（42日）

令和3年8月7日から9月30日まで（55日）

令和4年1月9日から3月6日まで（57日）

開館期間中は次のとおり対策を講じた

- ・南側出入口を入口専用、北側を出口専用とし、一方通行の動線とした。
- ・入館の際、検温、手指消毒を実施。
- ・展示端末の稼働を38台から20台に減らし、ヘッドホンは使用禁止とした。  
タッチパネルを操作する際に手指消毒を実施。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の入館者数について（平和記念資料館との比較）

令和元年度

区分	祈念館	資料館	割合	祈念館 対前年度比
H31 4月	52,216	180,830	28.9%	117.9%
R元 5月	48,616	241,864	20.1%	94.3%
6月	32,484	150,107	21.6%	91.6%
7月	29,592	130,919	22.6%	101.5%
8月	43,305	213,606	20.3%	98.4%
9月	36,290	164,579	22.1%	98.1%
10月	46,382	237,213	19.6%	95.7%
11月	37,643	197,984	19.0%	87.9%
12月	19,681	94,291	20.9%	86.5%
R2 1月	17,805	79,230	22.5%	84.7%
2月	15,149	68,123	22.2%	76.0%
3月	0	0	0.0%	0.0%
合計	379,163	1,758,746	21.6%	87.4%
累計	4,592,818	24,151,015	19.0%	—

令和2年度

区分	祈念館	資料館	割合	祈念館 対前年度比
R2 4月	0	0	0.0%	0.0%
5月	0	0	0.0%	0.0%
6月	1,636	9,314	17.6%	5.0%
7月	3,920	19,797	19.8%	13.2%
8月	7,244	40,427	17.9%	16.7%
9月	10,153	38,362	26.5%	28.0%
10月	11,448	66,339	17.3%	24.7%
11月	19,486	85,199	22.9%	51.8%
12月	5,162	27,462	18.8%	26.2%
R3 1月	0	404	0.0%	0.0%
2月	2,962	7,037	42.1%	19.6%
3月	7,402	34,249	21.6%	—
合計	69,413	328,590	21.1%	18.3%
累計	4,662,231	24,479,605	19.0%	—

令和3年度

区分	祈念館	資料館	割合	祈念館 対前年度比	資料館 対前年度比	
					#DIV/0!	%
R3 4月	5,054	20,168	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	%
5月	2,294	15,337	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	%
6月	1,455	6,615	22.0%	88.9%	71.0%	%
7月	6,603	39,644	16.7%	168.4%	200.3%	%
8月	1,948	9,643	20.2%	26.9%	23.9%	%
9月	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	%
10月	9,637	67,337	14.3%	84.2%	101.5%	%
11月	15,037	107,564	14.0%	77.2%	126.3%	%
12月	9,719	77,496	12.5%	188.3%	282.2%	%
R4 1月	2,311	16,864	13.7%	#DIV/0!	4,174.3%	%
2月	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	%
3月	8,000	45,329	17.6%	—	—	%
合計	62,058	405,997	15.3%	89.4%	123.6%	%
累計	4,724,289	24,885,592	19.0%	—	—	%

## 7.多言語化対応

	区分	被爆体験記		証言ビデオ			リーフレット 翻訳言語状況
		翻訳編数 (A)	(A)のうち R3年度新規 追加(作成)編数	字幕付本数 (B)	(B)のうち R3年度新規 追加(作成)本数	吹替え本数 (C)	
1	英語	432	24	806	2	105	○
2	中国語	350	22	164	2	105	○
3	韓国・朝鮮語	349	22	161		105	○
4	アラビア語	9		10	1		○
5	イタリア語	9		11	1		○
6	インドネシア語	9		5			○
7	ウルドゥー語	9		5			○
8	オランダ語	9		3			○
9	ギリシャ語	9					
10	クロアチア語			4	1		
11	スウェーデン語	9		3			○
12	スペイン語	9		14	1		○
13	スロベニア語			6			
14	タイ語	9		5	2		○
15	ドイツ語	9		38	2		○
16	ノルウェー語	9					
17	ハンガリー語			9	2		
18	ヒンディー語	9		7	2		○
19	フィリピン語	9		5	2		○
20	フィンランド語	9	3				
21	フランス語	9		30			○
22	ヘブライ語	9		5			○
23	ベトナム語	9		5	5		○
24	ポーランド語	9		6			○
25	ポルトガル語	9		11	1		○
26	マレー語	9		3			○
27	ロシア語	9		8	2		○
	合計編・本数(作成)	1,320	71	1,324	26	315	0
	合計言語数(作成)	24	4	24	14	3	0
							21